

令和 6 年度

決 算 報 告 書

第 19 期事業年度

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日

公立大学法人 九州歯科大学

令和6年度 決算報告書

1 収支計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)－(a)	備考
費用の部	3,596	3,673	76	
経常費用	3,596	3,673	76	
業務費	3,100	3,174	73	
教育研究経費	384	359	△ 24	
診療経費	810	789	△ 20	
受託研究費等	6	11	4	(注1)
人件費	1,899	2,013	113	
一般管理費	487	486	△ 1	
(減価償却費 再掲)	(306)	(280)	(△ 26)	
財務費用	8	10	2	(注2)
雑損	－	1	1	(注3)
臨時損失	－	0	0	
収益の部	3,451	3,579	127	
経常収益	3,451	3,577	126	
運営費交付金収益	1,604	1,699	95	
授業料収益	403	411	7	
入学金収益	62	63	1	
検定料収益	8	10	1	(注4)
附属病院収益	1,200	1,149	△ 50	
受託研究等収益	11	11	0	
補助金等収益	47	45	△ 1	
寄附金収益	17	31	13	(注5)
財務収益	0	0	0	
長期繰延補助金等	46	102	55	(注6)
雑益	49	52	3	
臨時利益	0	1	1	(注7)
当期純利益	△ 145	△ 93	51	
当期総利益	△ 145	△ 93	51	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

- (注1) 受託研究費等については、主として当初予算で減価償却を伴う研究機器の購入を見込んでいたところ、実際には消耗品の購入に充てたことにより、予算金額に比して4百万円増加しました。
- (注2) 財務費用については、主として電子カルテシステムリースによる支払利息が当初見込みを上回ったことにより、予算金額に比して2百万円増加しました。
- (注3) 雑損については、主として附属病院において賠償金の支払いが発生したことにより、予算額に比して1百万円増加しました。
- (注4) 検定料収益については、入学志願者が当初見込みを上回ったことにより、予算金額に比して1百万円増加しました。
- (注5) 寄付金収益については、当初見込みを上回ったことにより、予算金額に比して13百万円増加しました
- (注6) 長期繰延補助金等については、主として施設整備補助金で取得する資産を含んだ工事の工期が年度後期に偏ったことにより、予算金額に比して55百万円増加しました。
- (注7) 臨時利益については、主として附属病院の賠償保険金として1百万円計上されたことにより、予算金額に比して1百万円増加しました。

令和6年度 決算報告書

2 資金計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)－(a)	備考
資金支出	3,725	4,109	384	
業務活動による支出	3,254	3,372	117	(注1)
投資活動による支出	225	216	△ 8	(注2)
財務活動による支出	169	111	△ 58	(注3)
翌年度への繰越金	75	409	333	
資金収入	3,725	4,109	384	
業務活動による収入	3,566	3,641	75	
運営費交付金収入	1,604	1,712	107	
授業料収入	384	394	9	
入学金収入	62	63	1	
検定料収入	8	10	1	(注4)
附属病院収入	1,200	1,149	△ 50	
受託研究等収入	11	10	△ 0	
補助金等収入	227	227	0	(注5)
寄附金収入	17	21	3	(注6)
その他の収入	49	52	3	
投資活動による収入	0	0	0	
財務活動による収入	－	－	－	
前年度からの繰越金	159	467	308	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

(注3) 財務活動による支出については、主として電子カルテシステムのリース支出が当初見込みよりも下回ったことにより、予算金額に比して58百万円減少しました。

(注4) 検定料収入については、入学志願者が当初見込みを上回ったことにより、予算金額に比して1百万円増加しました。

(注6) 寄付金収入については、当初見込みを上回ったことにより、予算金額に比して3百万円増加しました。

○キャッシュ・フロー計算書の額と決算額の主な差異について

(注1) 業務活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額3,398百万円に、当期末未払金296百万円を加算し、前期末未払金322百万円を減算して算出しています。

(注2) 投資活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額146百万円に、当期末未払金94百万円を加算し、前期末未払金23百万円を減算して算出しています。

(注5) 補助金等収入の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額283百万円に、当期末未収金169百万円を加算し、前期末未収金225百万円を減算して算出しています。